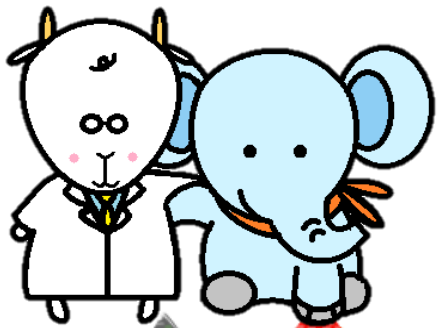


コミュニケーション症/ コミュニケーション障害 の支援に役立つカウンセリング



西明石カウンセリングオフィス



はじめに

コミュニケーション症/コミュニケーション障害とは・・・

ネット上などで俗に用いられる「コミュ症」とは異なります

ネット上で称されるコミュ症

- ・ 雑談が苦手
- ・ 場の空気や雰囲気を読めない
- ・ 人付き合いが苦手

こちらもコミュニケーションの障害といえる

- ・ 空気を読みすぎる
- ・ 忖度しすぎる
- ・ 本音が怖くて言えない
など



コミュニケーション症について

- コミュニケーション症には、以下が含まれます。
 - 言語症/言語障害
 - 社会的コミュニケーション症
 - 語音症
 - 吃音症

ここでは社会的コミュニケーション症へのカウンセリングについて紹介します。



社会的コミュニケーション症

- 目的に適った形での挨拶や情報提供が難しい
- 遊び場と教室、相手が子どもか大人かによって話し方を変えることが難しい
- 曖昧な言葉、慣用句、ユーモア、比喩的な表現、複数の意味をもつ言葉の理解が難しい、冗談が通じない
- 誤解されたときに言い換えられない



対応と支援

周りの理解がとても重要です

- 学校や職場では、本人との話し合いのうえ、からかい対策や支援対策等の配慮をすることが大切です。
- 苦手さがあることを理解し、むやみに責めないようにしましょう。
- 二次的障害*を予防するため、できる対策を考え、焦らずスモールステップのやり方で対人関係のスキルを身に付けられるよう支援しましょう。
- 自然に接することで安心感が得られます。

*二次的障害…もとの症状に伴って、二次的に起こる症状のこと（不安や抑うつ、攻撃性など）

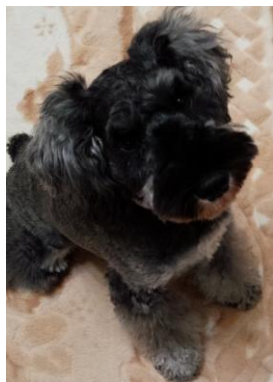
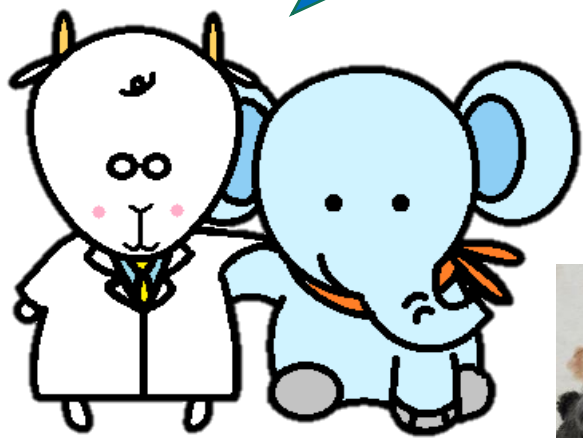


社会的コミュニケーション症へのカウンセリング

- 落ちついて話ができる環境を整え、安心できる相手との対話を通じて、話をすることへの不安感の軽減をめざします。
- 場面を想定した実践的なコミュニケーションスキル向上のための練習など、具体的な対策についても一緒に考えます。
- ご本人の抱える社会的困難感やつらさを軽減できるようアプローチします。
- 関わりを通して良くなったことに目を向け、自信や自己肯定感を高めていきます。
- 家族や担任、職場の上司など、ご本人を支える周りの方のサポートについての相談もできます。



シリーズで皆さんの参考になることをお伝えします。



次回は 吃音症について



西明石カウンセリングオフィス

